

(平成24年4月分)

部 門	市況の概要
野 菜	4月期の野菜の入荷状況は、根菜類では、ダイコンが天候不順による作柄不良で入荷減となる一方、タケノコでは、表年により入荷増となった。葉菜類・果菜類では、天候不順による作柄不良で入荷減となった。土物類では、タマネギが天候不順による作柄不良で入荷減となった。バレイショは、天候不順により作柄が悪かったものの、中央集散機能が発揮され、入荷増となった。野菜全体の入荷量は、前年同期を13%下回った。 価格は、上旬の台風並みの大風を伴う悪天候の影響で入荷量が一時的に不安定になり、その後相場は大きく変動したが、最終的に多くの品目で入荷減であったことから単価高となる品目が多かった。野菜全体としては、前年同期を18%上回った。 品目別には、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、タマネギが入荷減の単価高、西洋ニンジンが入荷・単価ともに前年同期並み、タケノコが入荷増の単価安、バレイショが入荷増の単価安、生シイタケが入荷減の単価安となった。 根菜類は、入荷が10%減少し、価格は20%高となった。 葉菜類は、入荷が18%減少し、価格は31%高となった。 果菜類は、入荷が19%減少し、価格は36%高となった。 土物類は、入荷が6%減少し、価格は8%減となった。
果 実	4月期の果実の入荷状況は、柑橘類では、甘夏柑で天候不順による作柄不良で入荷減、清見オレンジで大玉傾向により入荷増となった。リンゴ類では、産地在庫量が少なく入荷減となった。イチゴ類では前月の前進出荷により入荷減となった。メロン類・スイカ類では天候不順による作柄不良で入荷減となった。果実全体の入荷量は、前年同期を17%下回った。 価格は、柑橘類では、甘夏柑で下位等級の入荷が多く単価安、清見オレンジで入荷増による単価安となった。リンゴ類・メロン類・スイカ類では入荷減により単価高となった。イチゴ類では入荷減ながら需要の低迷から価格は前年同期並みとなった。果実全体では、前年同期を6%上回った。 品目別には、ふじリンゴ、アールスメロン、アンデスメロン、大玉スイカが入荷減の単価高、甘夏柑が入荷減の単価安、清見オレンジが入荷増の単価安、イチゴが入荷減の単価は前年同期並みとなった。 柑橘類は、入荷が17%増加し、価格は9%安となった。

	リンゴ類は、入荷が 3 7 %減少し、価格は 6 5 %高となった。 イチゴ類は、入荷が 1 4 %減少し、価格は前年並みとなった。 メロン類は、入荷が 5 3 %減少し、価格は 5 3 %高となった。 スイカ類は、入荷が 4 1 %減少し、価格は 1 4 %高となった。
--	---

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 ダイコン 西洋ニンジン タケノコ	長崎県を中心に、香川県、滋賀県、鹿児島県、千葉県からの入荷。 各産地ともに低温による生育の遅れから、入荷量は前年同期を18%下回った。 価格は、入荷減であったことから前年同期を70%上回った。 徳島県を中心に、鹿児島県、長崎県、中国、台湾からの入荷。 各産地ともに低温による生育の遅れから、細物傾向での入荷となった。入荷量は、入荷の少なかった前年同期並みとなった。 価格は、低温・干ばつの影響で入荷量が少なかったことから単価高であった前年同期並みであった。 京都府を中心に徳島県、福岡県、鹿児島県からの入荷。 主力の京都府産で、今年は表年であることから入荷量は前年同期を32%上回った。 価格は、入荷増であったことから前年同期を26%下回った。
【葉菜類】 ハクサイ キャベツ ホウレンソウ レタス	茨城県を中心に、熊本県、長崎県、兵庫県、福岡県からの入荷。 主力の茨城県産で、低温による生育の遅れから、小玉傾向の入荷となった。全体の入荷量は、前年同期を22%下回った。 価格は、入荷減であったことから前年同期を38%上回った。 愛知県を中心に、兵庫県、滋賀県、神奈川県、鹿児島県からの入荷。 愛知などの秋冬ものの残量は平年より多かったが、春物は各産地とも低温による生育の遅れから、小玉傾向の入荷となった。全体の入荷量は、前年同期を21%下回った。 価格は、入荷減であったことから前年同期を48%上回った。 京都府を中心に、徳島県、福岡県、岐阜県、茨城県からの入荷。 京都府産は作付面積の減少、岐阜県産については低温の影響から前年を下回る入荷となったが、徳島県産・福岡県産の残量多く前年を上回る入荷となった。結果的に全体の入荷量は、前年同期を6%下回った。 価格は、入荷減であったことから前年同期を14%上回った。 兵庫県を中心に、茨城県、徳島県、長崎県、岡山県からの入荷。 各産地とも低温による生育の遅れにより小玉傾向の入荷となったことから、入荷量は、前年同期を18%下回った。 価格は、入荷減であったことから前年同期を36%上回った。

【果菜類】	
キュウリ	宮崎県を中心に、高知県、滋賀県、福岡県、徳島県からの入荷。各産地とも曇天続きで作柄が悪く、入荷量は、前年同期を21%下回った。 価格は、入荷減であったことから前年同期を36%上回った。
ナス	高知県を中心に、岡山県、徳島県、滋賀県、熊本県からの入荷。前年度は震災の影響により関西の入荷量が増加したが、本年は例年並みの入荷量に戻ったため、前年同期を23%下回った。 価格は、入荷減であったことから前年同期を20%上回った。
トマト	熊本県を中心に、福岡県、三重県、佐賀県、奈良県からの入荷。各産地とも天候不順により遅れていた入荷も増加傾向にあるものの、小玉傾向での入荷となったため入荷量は、前年同期を17%下回った。 価格は、入荷減であったことから前年同期を42%上回った。
ピーマン	宮崎県を中心に、高知県、茨城県、鹿児島県からの入荷。茨城県産で曇天の影響により作柄不良であったことから、入荷量は、前年同期を10%下回った。 価格は、入荷減であったことから前年同期を44%上回った。
【土物類】	
バレイショ (メーク含む)	鹿児島県、北海道を中心に、長崎県からの入荷。主力の北海道産で、昨秋の天候不良により作柄は悪かったものの、中央集散機能の発揮により、全体の入荷量は、前年同期を13%上回った。 価格は、入荷増であったことから前年同期を28%下回った。
タマネギ	長崎県を中心に、北海道、佐賀県、中国、ニュージーランドからの入荷。各産地とも生育期の低温・干ばつの影響により小玉傾向であったことから全体の入荷量は、前年同期を21%下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を18%上回った。
【その他野菜】	
生シイタケ	徳島県を中心に、北海道、広島県、和歌山県、岡山県からの入荷。北海道産が入荷増となる一方、徳島県産、和歌山県産、岡山県産で燃料等の高騰の影響により生産量が減少したことから、全体の入荷量は、前年同期を11%下回った。 価格は、単価の安い袋物の入荷が多かったことにより、前年同期を6%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏柑	熊本県，愛媛県を中心に，福岡県，和歌山県，大分県からの入荷。各産地ともに大玉傾向の入荷ではあったものの，昨秋の台風・降雨の影響による作柄不良により入荷量は，前年同期を10%下回った。 価格は，昨秋の降雨による品質の劣化など下位等級の入荷割合が高かったことから前年同期を10%下回った。
清見	和歌山県を中心に，大分県，福岡県，愛媛県からの入荷。各産地ともに昨秋の降雨の影響により玉が太り，大玉傾向であったため結果的に入荷量は，前年同期を17%上回った。 価格は，入荷増であったことから前年同期を18%下回った。
ふじ （サン含む）	青森県からの入荷。産地での流通在庫が少ない状況となっているため，入荷量は，前年同期を42%下回った。 価格は，入荷減であったことから前年同期を77%上回った。
イチゴ	福岡県を中心に，熊本県，大分県，佐賀県，長崎県からの入荷。各産地ともに4番果の切りあがりが高く，前月に前進出荷気味となったことから，入荷量は前年同期を14%下回った。 価格は，入荷減ながら需要は低く，前年同期並みであった。
アールスメロン	静岡県，高知県からの入荷。各産地ともに日照不足の影響により小玉傾向となり，入荷量は，前年同期を29%下回った。 価格は，入荷減であったことから前年同期を60%上回った。
アンデスメロン	熊本県からの入荷。天候不順により生育遅れのため小玉傾向となったことから入荷量は，前年同期を54%下回った。 価格は，入荷減であったことから前年同期を27%上回った。
大玉スイカ	熊本県を中心に，高知県からの入荷。天候不順で作柄が悪く，入荷量は，前年同期を42%下回った。 価格は，入荷減であったことから，前年同期を13%上回った。